

豊かな心と健やかな体を備えた しなやかでたくましい人づくりを推進します

施策の方針4-1 心の教育・道徳教育の充実

● 現状と課題

- 道徳教育や特別活動など、学校教育活動全体を通じて子供たちのウェルビーイングの向上を図ることが必要です。
- 小中学校においては「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育を推進するとともに、「考え、議論する道徳」への質的転換の具現化に向け、発達の段階を踏まえた指導方法の工夫・改善が求められています。
- 本県では、教科書と併せていしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ 道徳いしかわ」の活用などにより道徳教育の充実に取り組むとともに、保護者や地域の人々をゲストティーチャーに迎えた授業の公開など、学校・家庭・地域が連携した道徳教育を推進しています。
- 学校・家庭・地域を代表する団体と県教委で構成する心の教育推進協議会[※]では、「心の教育推進大会」の開催や、「未来へつむぐ家族の手紙」の募集、高校生ボランティアリーダーの養成など、家庭や地域と連携しながら、子供たちの豊かな心を培う心の教育を推進しています。家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、家族のコミュニケーションづくりや、地域の人々が絆を深めながら子供たちを見守り、社会全体で子供たちの成長を支援していくことが求められています。
- 子供の読書活動は、「子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」であり、社会全体での子供の読書活動の推進が求められています。

● 主な取組

◆ いしかわ版道徳教材の活用推進

いしかわ版道徳教材にちなんだ映像資料集 (DVD) を活用するなど、全ての公立小中学校で「いしかわ版道徳教材」の効果的な活用を促進します。

※ 心の教育推進協議会 … 健全な青少年の人間形成を目指し、学校・家庭・地域を代表する団体と県教委で構成された、「心の教育」の推進を目的とした協議会。

◆ 道徳の指導方法の工夫・改善

「考え、議論する道徳」の具現化に向け、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善を進め、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習など、発達の段階を踏まえた効果的かつ多様な指導方法の工夫・改善を推進します。

高等学校における道徳教育については、教育活動全体を通じて行っており、道徳教育推進教師を中心に、各学校の実態に応じた道徳教育を推進していきます。



いしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ 道徳いしかわ」

◆ 学校・家庭・地域との連携による道徳教育の充実

- ・ 道徳の授業公開や、保護者や地域の人々も参加できる道徳の授業の工夫・改善などを通して、道徳の意義について理解を深め、学校・家庭・地域との連携による道徳教育を充実します。
- ・ 保護者や地域の人々をゲストティーチャーとして学校に招き、子供たちの心に響くメッセージを通して、子供たちの豊かな人間性を育みます。

◆ 絆を深める「心の教育」の充実

- ・ 心の教育推進協議会において、家族それぞれの思いを短い手紙にしたため、家族のコミュニケーションを図る「未来へつむぐ家族の手紙」の募集や、社会全体で心の教育を進める意識を高めるために開催する「心の教育推進大会」など、様々な事業を展開し、心の教育の充実を図ります。
- ・ 地域の人々が、子供たちと積極的に関わり、公共マナーの大切さや交通ルールの遵守等呼びかける「グッドマナーキャンペーン」を開催し、地域の人々と子供たちとの絆の確保に努めます。



「未来へつむぐ家族の手紙」作品集

◆ 高校生による被災地でのボランティア活動の推進【再掲】

(施策の方針 1-1「災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進」に記載)

◆ 家庭における読書活動の推進【後掲】

(施策の方針 8-3「豊かな心を育む読書活動の充実(子供の読書活動の推進)」に記載)

◆ 地域における読書活動の推進【後掲】

(施策の方針 8-3「豊かな心を育む読書活動の充実(子供の読書活動の推進)」に記載)

● 達成目標

項 目		現 状 (R7)	目標値 (R12)
全国学力・学習状況調査(または県基礎学力調査)で「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	86.8%	90%
	中学校	87.7%	90%
「未来へつむぐ家族の手紙」の応募数(家族部門:小中学生対象)		21,572点	30,000点